



慢性咳嗽について

『かぜ』をひいてから後、他の症状はよくなったのに、咳だけが長引いたという経験をされた方は以外に多いのではないのでしょうか。「かぜ症候群後遷延性咳嗽」という状態ですが、それ以外に長引く咳（慢性咳嗽）を訴えて受診される患者さんが最近多くなっています。この中には、アレルギーの関与のあるもの・ないもの、心理的な原因があるもの、胸焼けなど消化器症状のあるもの、その他いろいろな場合があります。

アレルギー関与のあるものとしては、咳誘発性喘息、アトピー咳嗽、喉頭アレルギーなどがあります。喘息というと、ゼーゼー・ヒューヒューといった喘鳴と呼ばれる呼吸に伴う胸の音をさせて呼吸が苦しくなる状態を思い浮かべますが、喘鳴を伴わずに咳が主に続くタイプの喘息があり、これが咳誘発性喘息というものです。アレルギー体質があり、他の症状・病気の特徴は喘息とよく似ているもので適切な治療によって軽快できます。

アレルギーの関与のないものとしては、慢性閉塞性肺疾患（慢性気管支炎/肺気腫）・後鼻漏症候群・副鼻腔気管支症候群等があります。これらによる咳は湿った痰を伴った咳のことが多いという特徴があります。喫煙をされる方は、まずタバコをやめることが第一です。タバコを控えることで軽快するものであれば、慢性閉塞性肺疾患と呼ばれる状態が疑われます。タバコを吸わない方は、他の病態を考えていくことになります。

さらに肺癌・気管支結核などの重大な病気による咳もあるので注意が必要です。